

松高11期4人組のドイツ旅・写真日記（3）

新谷 勇人

悲劇のドレスデンへ

写真はベルリン中央駅にて田中さん撮影。7月22日朝7時42分EC171



は静かにベルリン中央駅を離れ一路ドレスデンへ。ともかくここから列車旅が始まります。ジャーマンレールパスもこのときが初日。

ヨーロッパの鉄道旅にはトーマスクックという時刻表が必携品。これはヨーロッパ全部の鉄道時刻表をコンパクトにまとめたものですが、それだけに「解説」が大変です。今回は全て公子さんが調べ上げて作った計画で走りました。

田中さんが数独で国際交流を果たしたのはこの列車だったかしら。約2時間余の後、列車はドレスデン中央駅に到着。ホテルに荷物をおいてからここでも市電に乗って市内の概況を偵察しました。

聖母教会（フロイエンキルヒェ）

写真上、中央のドームは聖母教会。1945年の大空襲でヨーロッパの真珠と呼ばれた古都は一夜で瓦礫の山となり、ドレスデンは日本の広島のような存在となりました。原爆ドームに相当するのはこの聖母教会です。瓦礫を集めて昨年復元されたもの。その下に見える2階建てみたいな建物は我々が宿泊したヒルトン。実は下が隠れており4階建。手前の川は「エルベの邂逅」（世界史の教科書に写真が載ってたでしょ、あれです）。





本人には朗報です。

写真左はエルベ川での観光パラセーリング（撮影は公子氏）。怖そうだから乗りたいとは思わなかった。でも数日後にバーデンバーデンで熱気球体験をしてからは、「あれにも乗ればよかった」と後悔しました。

何処でも寿司パック

今回の旅行では、あちこちの都市の駅や街頭で寿司パックを売っていました。そう、鉄火やカップ巻きや稲荷です。味もまーまーですから日

魔女のサッカー

ホテルは「ブリュールのテラス」というエルベ川沿いの名所にありました。土曜日でしたが夕方が近づくにつれ沢山の屋台が出て、人が集まり、大賑わい。何かお祭りらしいけど、分かりません。そうそう、ブタの頭から尻に串を刺した丸焼きもやっていたな。漫画でなく実物を見たのは初めてでした。今思えば試食すれば良かった。

エルベ川にかかる橋はホコ天になっており、丁度竹馬に乗った魔女が大きなボールと箒を使ったサッカーをしていました。よく見ると女装でしたから、魔女とは言えないか！（撮影は公子さん）



アルテマイスター

田中・村尾組はツインガー宮殿の武具館に。新谷組はアルテマイスター（美術館）へ。ここでもフェルメールを2枚見ました。大事にされていて、壁一面を小さなフェルメールが占拠していました。

このときクラナハ展をしていました。よく知らなかったもので、何となく気持ちワリィ絵だと素通りしました。しかし翌日ワイマールにてヘルダー教会の祭壇画（クラナハ作）を見て、衝撃を受けましたね。それ以後インターネットで色々見て、クラナハにハマリそうな私です。